

結婚相手 ママが探してあげます

親がお見合い



「うちの娘は気遣いができ
ます」「息子の勤め先は一流
企業です」。プロフィールを
片手に親同士がわが子の結婚
相手を探す「親のお見合い」
が、福岡や佐賀で人気だ。

主催するのは阿蘇の結婚相
談業者でつくる特定非営利活
動法人（NPO法人）「字伎
由比倶楽部（うきゆいくら

「親のお見合い」人気

ぶ」。人と人が杯を交わ
し信頼関係をつくるという意
味の言葉を法人名にした。過
去十五回で延べ約四百人が参
加し、阿蘇で計二十六組の夫
婦を誕生させたという。

同倶楽部理事長の仲野初代
さんは人気の理由を、結婚を
急ぎたがらない子どもと、早
く配偶者を決めてほしい親
との間で「意識の違いが大き
い」と指摘する。

くなっているからでは」とみ
る。

九月上旬に佐賀市で開かれ
たお見合いには三十一、四十代
の子どもを持つ母親ら十二人
が参加。「結婚後に家業を継
げるか」など真剣なやりとり
が交わされた。

五十代の母親は三十代の娘
から「そんなに結婚しろと言

うなら相手を探して」と迫ら
れ参加。「結婚相手を紹介し
てくれるような付き合いは減
ってしまい、こういう会も必
要だ」

未婚の息子○○に内証で参
加した母親○○は、気に入っ
た花嫁候補を見つけ「家庭の
事情が分かり納得して相手を
探せる。来て良かった」とほ
っとした様子。本人同士が納
得すれば正式にお見合
いさせる。

過保護？ 思いは切実

お見合いを契機に息
子が婚約した六十代の
女性は「必要以上には
ブライベートに踏み込
まない時代。合理的な
やり方ではないか」と
語る。

過保護とも思うが、
独身を続けられるより
はまし。ただ、息子に
は「自分で相手を探せ
ないのはちょっと恥ず
かしい」との思いもあ
るといふ。